2019年度物理学 宿題 (第12回)

				リン生子 1日起(第12回) (的に利用することだけ認めます。くれぐれも2次配布しないでください。
学科	学年	年	番号	氏 名
I				
(a) 落下しは	はじめてから <i>t</i> 秒後	その物体の	速度を求	えめよ.
				(答)
(b) <i>t</i> 秒の時	間の間で,運動エ	ネルギー	はどれだ	し け変化するか求めよ.
				(答)
				(1)
(c) 落下しは	はじめてから t 秒だ	け時間か	経過した	とする.この時,位置エネルギーはどれだけ変化するか求めよ.
				(答)
(d) 前問の (るか答え		ると、落	下前とむ	秒後の力学的エネルギーは変化するか, あるいはしないか, どちらて
3 N II N				
				(答)
(e) 高さ <i>h</i> た	だけ落下し, 地面に	三到達する	5直前の物	 n体の落下速度を求めよ (力学的エネルギー保存の法則を用いて考え 。
				(答)

2. 以下の空欄にあてはまる適切な	記号または言	葉を解答せよ。	また,	以下の問では重力加	速度は	g とする。
運動の勢いを表す物理量は	(a) とより	ばれ、物体の質	量 m と	その速度 \vec{v} を用いて	(b)	と表せる。

いま,速度 $\vec{v_0}$ で運動している質量 m の物体に,外から力 \vec{F} が時間 δt の間だけ加わった結果,物体の速度が $\vec{v_0}$ から $\vec{v_1}$ に変化したとする。

物体に作用した力 \vec{F} と、その力が物体に加わっていた時間 δt を掛け合わせたもの $(\vec{F} \cdot \delta t)$ は (c) とよばれる。また、物体の (a) の変化は、その間に物体に働いた (c) に等しいとよび、この関係を (d) という。

次に、2つの物体に関し、お互いに力を及ぼし合う場合について考える。ただし、お互いの間に働く力以外、外からは力が働かないものとする。すると、2 つの物体それぞれがもつ (a) を足し合わせたものは、お互いに力を及ぼし合う前後で一定に保たれる。この法則のことを (e) とよぶ。

(a)	(b)	(0	(c)	(d)	(e)	

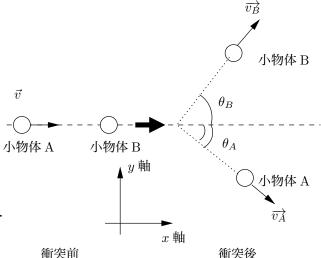
- 3. 質量 2.0[kg] の物体が x 軸上に沿って速度 20[m/s] で等速度運動をしている。
 - (a) 物体のもつ運動量を求めよ。

(答)

(b) いま、この物体に x 軸方向に一定の力 F = -6.0[N] の力を加える。この力を加えはじめてから 5.0[s] 後、および 10[s] 後の物体の速度を求めよ。(ヒント:5.0[s] 間、および 10[s] 間に物体に加えた力積がどれだけかを求める)。

(答) 5 秒後	(答) 10 秒後	

- 4. 右図のように、質量がともにmである 2 つの小物体 A, Bが衝突した。衝突前の小物体 A は速度 \vec{v} でx 軸の正の方向に沿って運動しており、小物体 B は静止していたとする。衝突後、小物体 A, B は、衝突前の小物体 A の進行方向に対して、それぞれ角度 θ_A 、 θ_B だけ、逸れて運動したとする。以下の間に答えよ。
 - (a) 衝突後の小物体 A, B の速度 vi, vi をそれぞれ求めよ。なお、解答は vi と vi の速度の x, y 成分をそれぞれ答えよ。



$\vec{v_A}$	$(v_{A_x}, v_{A_y}) =$
$\vec{v_B}$	$(v_{B_x}, v_{B_y}) =$

(b) θ_A が $\frac{\pi}{3}$, $v_A = \frac{1}{2}v$ の時, θ_B を求めよ。	
	(答)
質量 m の弾丸が速さ v_0 で固定した質量 M で厚さが d の鉄板に当る。のとする。ただし、弾丸が鉄板中を進むとき、鉄板から受ける力が一	
(a) 鉄板から弾丸が受ける力を F とする。弾丸が鉄板中を a だけ進むに当たる前に持っていた運動エネルギーが等しいという式を示せ	
	(答)
(b) 鉄板を貫通するための最小速度を求めよ。	
	/ <i>Fefer</i> \
	(答)
(c) その固定してあった鉄板を天井に吊して動きを得るようにしてこ 入り込むか?	の弾丸を当てる場合、弾丸の速度 v_0 の時どこまで
	(答)
(d) また、前間の条件で貫通するための最小速度を求めよ。	
	(答)

5.